

## 平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

### 佐賀市立松梅中学校

4月に文部科学省による全国学力・学習状況調査を実施しました。これは、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図ることが目的です。学校においては、児童生徒への教育指導の充実や学習充実や学習状況の改善等に役立てることやこれらの取組を通じて、教育に関する継続的な検証・改善を確立することを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

#### ■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

#### ■ 調査の対象学年

中学校3年生

#### ■ 調査の内容

##### (1) 教科に関する調査

国語・数学・英語
<ul style="list-style-type: none"><li>・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li><li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容</li><li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容</li></ul>

※今年度は、国語と数学に加え、はじめて「英語」の調査が行われました。

##### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況、児童生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査

#### ■ 調査結果及び考察について

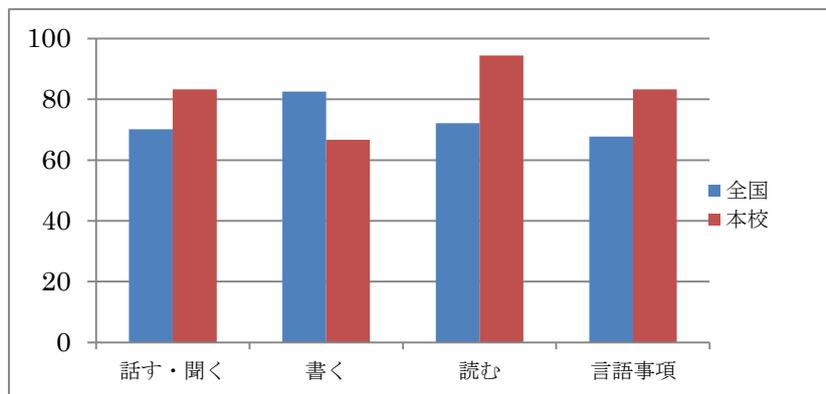
全国学力学習状況調査は中学3年生が対象であり、教科は国語と数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■調査結果及び考察

### 1 国語

#### (1) 結果

全国正答率との比較



ほとんどの領域において、全国平均を上回っており、無解答率も0%であった。特に文章の内容を読み取る能力が高いのに対して、話合いの話題や方向を捉えて自分の考えを書くことへの課題が見られた。

#### (2) 成果と課題

##### 話すこと・聞くこと

・話合いの話題や方向を捉えることができている。これからもペアやグループでの話し合い活動、個人の意見発表などを積極的に取り入れ、話の展開に注意して聞いたり、質問したりする力を付けていきたい。

##### 書くこと

・昨年度から「ステップ作文」に取り組んでおり、書くことに対する抵抗感は減ってきている。しかし、根拠を明確にして書いたり、話合いの流れに沿って考えを書いたりすることへの課題が見られた。これからも「ステップ作文」を継続しながら、作文課題を工夫することで、課題の解決を図りたい。

##### 読むこと

・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができている。多様な情報に触れながら発想を得る力、幅広い読書によって主体的に考え視野を広げる力を今後も育成していきたい。

##### 言語事項

・文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりする問いでは、多くの項目で正答率100%だった。授業の最初に取り組む漢字プリントなどの成果が表れている。今後も、継続して取り組んでいきたい。

#### (3) 学力向上のための取り組み

##### 【学校では】

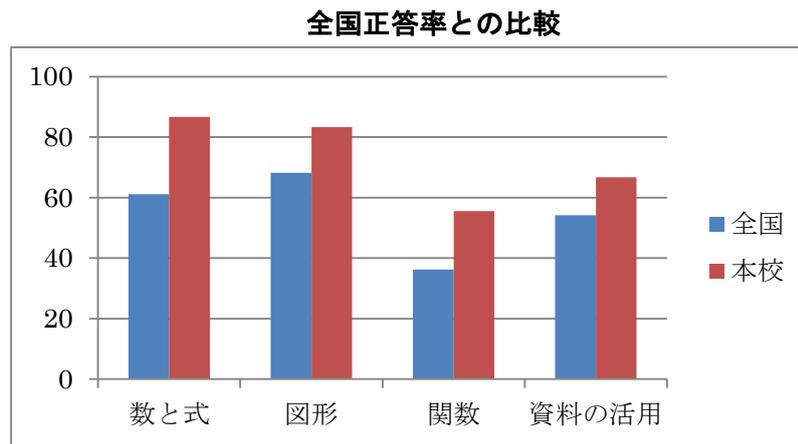
- 授業の中で言語活動を充実させ、根拠を明確にしながら、自分の考えを豊かに表現する力を培います。
- 発表したり意見交換したりする場面を多く設定し、コミュニケーション能力の育成を目指します。

##### 【ご家庭では】

- 社会の出来事などについて機会を見つけて話題にしてみてください。会話の中から考える力や伝える力が育まれます。また、読書は視野を広げます。家族ぐるみで読書に親しんでください。
- 漢字の書き取りの宿題は毎日出していますので、時々目を通してください。同じ間違いをしていないか確認し、正しく丁寧に書けているときは「しっかり書けているね」と励ましの言葉かけをお願いします。

## 2 数学

### (1) 結果



ほとんどの領域で全国平均を大幅に上回っていた。すべての問題で無解答がなく、記述式の問題でも自分の言葉で伝えようとする姿勢が見られた。しかし、数学的な表現を用いて、筋道立てて説明する問題において正答率が低い傾向が見られた。

### (2) 成果と課題

#### 数と式

・計算問題については、正答率が高かった。しかし、連立方程式では、2つの式が  $ax + by = c$  の形になっていない問題が出題されており、つまずいている生徒がみられた。

#### 図形

・すべての問題で全国平均を上回っていたが、新たな事柄を見だし、説明する問題について、数学的な表現で説明することができていない生徒がいた。

#### 関数

・すべての問題で全国平均を上回っていたが、グラフから読み取り、数学的に説明する問題においてつまずきを感じている生徒がいた。

#### 資料の活用

・資料の傾向を考え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題において、16.6%と全国平均よりも低い結果だった。問題の意図を理解しても、数学的な表現を用いて説明することにつまずきを感じている生徒が多かった。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 授業では、個に応じた深化・補充の時間の確保を行い、一人一人の力を高めます。
- 授業では、「一人学び」、「学び合い」の時間を設定し、疑問を解決できる場を設定します。
- 放課後等に補充学習を行い、個々の生徒のつまずきに対応します。

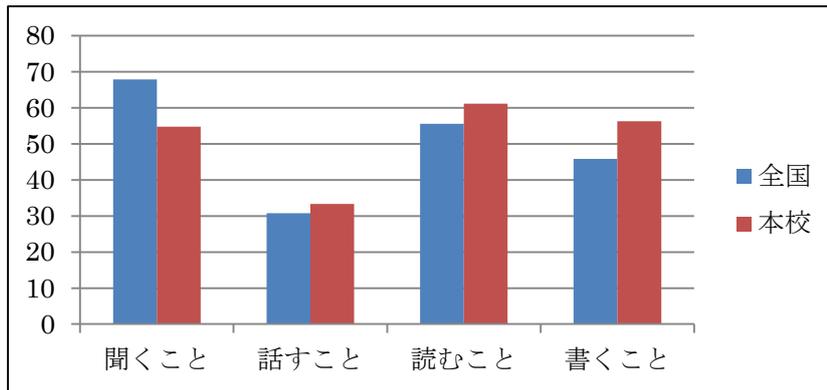
#### 【ご家庭では】

- 定期的に宿題を出し、繰り返し学習することで確実な定着を図ります。できた喜びを実感させます。
- たくさんの励ましや、賞賛の言葉をかけてあげてください。

### 3 英語

#### (1) 結果

全国正答率との比較



「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の中で、「書くこと」は全国正答率を大きく上回り、無解答の問題もなかった。しかし、「聞くこと」では、対話形式の問題において、ミスが目立ち、全国正答率を下回る結果となった。

#### (2) 成果と課題

##### 聞くこと

- ・簡単な教室英語は正確に聞き取ることができており、正答率は100%であった。聞いて把握した内容について適切に応じる、という問題では、正答率が0%という結果であった。リスニングは繰り返しがなく、1度のみの問題であり、対話文や50語を超える少し長い文を正確に聞き取ることができていなかった。

##### 話すこと

- ・即興的に内容に合った質問をすることができていなかった。また、基礎的な文法事項や語の誤りがあった。一方、「将来の夢」や「やってみたいこと」における話型は定着しており、正答率100%であった。

##### 読むこと

- ・30語ほどの英語からなる英文や短文を読むことには慣れているが、150語以上の長文の読み取りになると正答率が下がっていた。英文の量や内容により、読み取りに差が見られた。

##### 書くこと

- ・比較的簡単な表現が使われた文の中では適切に接続詞を用いることができていた。また、与えられた情報を基に、英文を書くことには比較的慣れていた。しかし、与えられたテーマについて自分の考えを整理し、文と文のつながりを考えて、まとまりのある文章を書くことができていなかった。

#### (3) 学力向上のための取り組み

##### 【学校では】

○4技能を統合的に活用していくような授業を組み立てます。まずは、基礎的事項のインプットをアウトプットに繋げていくことを行い、アウトプットの経験を増やしていきます。また、その内容に対し、即興的に感想や質問をする時間を設定します。次に、教科書以外の多くの英文に触れさせ、その感想を述べたり、キーワードを見つけさせたりするような時間を設定します。

##### 【ご家庭では】

○単語や英語表現、まとまった英文を書く作業を、家庭学習できるように声掛けをしています。時に、練習ノートを見て、子ども達を励ましてください。

#### 4 生活習慣や学習習慣に関する調査

##### (1) 結果

###### 《生活習慣について》 (どちらかといえばしているも含む)

調査の項目	本校%	全国平均%
朝食を毎日、食べている	100.0	93.1
毎日、同じくらいの時刻に起きている	100.0	92.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	100.0	78.0

朝食については、家庭の協力により、全員が毎朝、食べることができており、起床・就寝時刻についても定まっており、安定した生活リズムである。

###### 《学習習慣について》

調査の項目	本校%	全国平均%
平日2時間以上勉強している	16.7	35.5
家で、自分で計画を立てて勉強している	33.4	50.4
(1.2年時授業)自分の考えを発表する時にはうまく伝わるよう資料や文章、組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	83.4	55.8
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	83.3	74.5

平日2時間以上勉強している生徒はわずかで、全国平均を下回っている。これからは高校入試に向けて、計画をたてて学習を進めるとより効率よく弱点を補強できる。

学習内容については、「自分で計画を立てて勉強している」や「授業の予習・復習をしている」の割合が低く、学校から出される宿題のみに終始している生徒が多い。家庭学習の仕方を具体的に指導するなど、苦手教科の克服や得意教科を更に伸ばしていけるよう支援していきたい。

###### 《その他の意識調査》

調査の項目	本校%	全国平均%
自分には良いところがある	83.3	74.1
将来の夢や目標を持っている	83.3	70.5
人の役に立つ人間になりたい	100.0	94.3
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	100.0	95.1

将来の夢や目標について具体的な考えがない生徒もいるが、キャリア教育を通して、人生観や職業観を育み、自分の良さを生かせる生き方について考えさせたい。

##### (2) 改善に向けての取り組み

###### 【学校では】

○毎日、「自主学习」「漢字」を宿題として出しています。また、他の教科でも授業内容に応じた課題を出し、家庭学習の習慣の定着を図っています。各自が自分の力を伸ばし、家庭学習の質を向上させられるよう、支援をしていきたいと思ひます。

○キャリア学習に重点を置き、将来の目標に向かって主体的な学習ができるように努めていきます。

###### 【ご家庭では】

○家庭学習の習慣が定着するよう、「家庭学習のパンフレット」を活用されながら、ご支援をお願いします。

○規則正しい生活が身に付くよう、「早寝・早起き」の声かけをよろしくお願いします。そして、一つ成長を感じられることがあったら、みんなで喜び、励ましたり褒めたりしてあげてください。